



# Infor LN サービス 担当区域計画 ワークベンチユーザガイド

---

Copyright © 2017 Infor

## 重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

## 商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

## 発行情報

---

文書コード	tsterritplanwbug (U9872)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017年12月19日

---

---

# 目次

## 文書情報

第1章 担当区域計画ワークベンチ.....	7
担当区域計画ワークベンチについて.....	7
位置.....	7
ワークベンチの開始.....	7
レイアウト.....	8
第2章 担当区域計画ツールバーとマップアイコン.....	9
ワークベンチのナビゲーション.....	9
ツールバー.....	9
担当区域計画アイコン.....	10
ワークスペースメニュー.....	11
複数画面シナリオおよびデフォルトビュー.....	11
第3章 個人設定.....	13
ユーザ設定.....	13
第4章 資源計画と影響分析.....	15
資源の割当/未割当および影響分析.....	15
資源の割当.....	15
資源の未割当.....	16
チャートでの作業.....	16
影響分析.....	17
第5章 計画の概念.....	19
計画での作業.....	19
単一計画.....	19
計画の比較.....	19

---

---

---

---

# 文書情報

このガイドでは、担当区域計画、担当区域計画の実装、移動時間の再計算など、担当区域計画ワークベンチに使用可能な各種の概念および処理について説明します。

## 目的

本書は、下記の目的のために作成されています。読者が Infor LN サービスに関する知識を有していることを前提としています。

- 次の概念の理解  
担当区域計画
- 次のタスクの実行  
担当区域計画の導入
- 移動時間の再計算

## 本書の概要

このガイドでは、「担当区域計画」ワークベンチで利用可能な各種概念および処理について説明します。

## 本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックから構成されています。したがって、マニュアル内の他のセクションへの参照は、次の例のように示されます。

詳細については、「Infor LN サービスオンラインヘルプ」を参照してください。

参照先のセクションを見つけるには、目次を参照してください。

下線が付いた用語は、用語集定義へのリンクを示しています。本書をオンラインで表示した場合、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動できます。

## コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、[documentation@infor.com](mailto:documentation@infor.com) にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

## Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル [www.infor.com/inforxtreme](http://www.infor.com/inforxtreme) をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、[documentation@infor.com](mailto:documentation@infor.com) までご連絡ください。また、ご意見は、[documentation@infor.com](mailto:documentation@infor.com) までご連絡ください。



# 第1章 担当区域計画ワークベンチ

# 1

この章では、担当区域計画機能と担当区域計画ワークベンチの概要を示します。

## 担当区域計画ワークベンチについて

担当区域計画の機能を使用して、担当区域および優先エンジニアのシミュレーションを実行できます。この目的は、地理的な地域内で交換可能な作業をクラスタ化して、移動時間を少なくすることです。

定義済の選択基準を使用して、特定の地理的な地域内で供給される必要があるシリアル番号付品目 (所要能力) を選択することができます。過去または既知のデータに基づいて所要能力が計算されます。利用可能能力をチェックするために、既存のサービスエンジニア、そしてシミュレーション処理から得られたエンジニアを参照することができます。これにより、計画見込からより多くの柔軟性が得られます。エンジニアのカレンダーおよび利用性タイプを指定すると、利用可能能力が計算されます。シミュレーション結果を使用して、シリアル番号付品目/担当区域の優先エンジニアを修正することができます。

## 位置

「担当区域計画ワークベンチ」は「サービス計画」モジュールで位置付けされます。「サービス計画」に含まれるモジュールは、「担当区域計画」、「予防メンテナンス計画」、および「グループ計画」です。担当区域のエンジンを使用して、シリアルの所要能力と、利用可能能力 (エンジニアまたはシミュレーションエンジニア) とを比較します。このエンジンで、シリアル番号付品目の所要能力と利用可能能力について、可能な限り最適な組合せを計算します。オプションで、エンジニアに担当区域を担当させ、最適な担当区域を計算することもできます。

## ワークベンチの開始

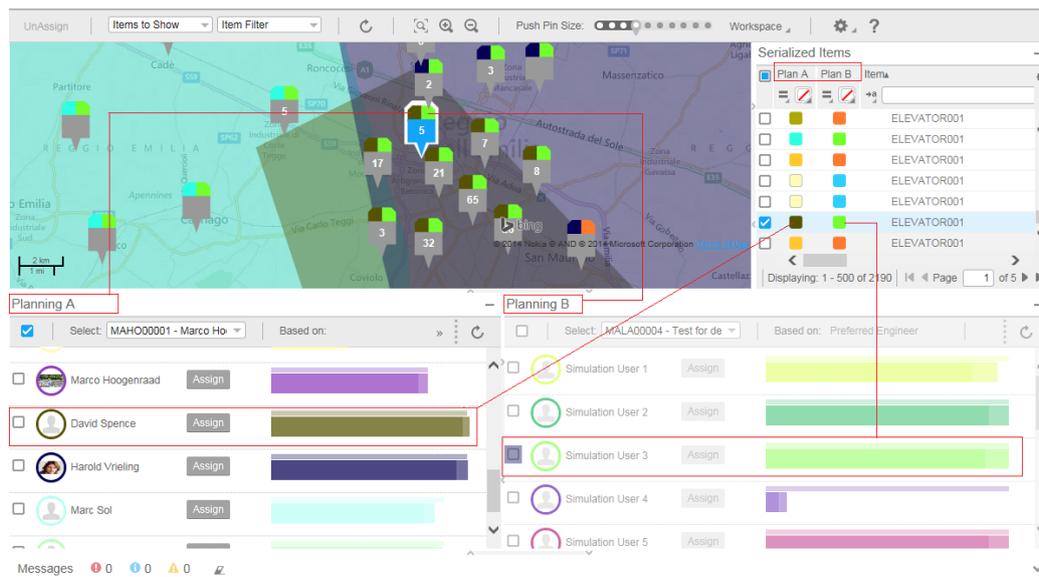
ワークベンチにアクセスするには、担当区域および優先エンジニア計画 (tsspc4100m000) セッションで計画を選択し、[担当区域計画ワークベンチ] オプションを選択します。選択した計画は、担当区域計画ワークベンチ (tsspc8351m000) セッションにアップロードされます。

## レイアウト

参照ポイント、サービスエンジニアのロケーション、中心基準、シリアル番号付品目など、さまざまな制約を考慮しながら、ワークベンチを使用して、担当区域および優先エンジニアのシミュレーションを実行します。

ワークベンチにアクセスすると、シリアル番号付品目、優先エンジニア、および参照ポイントに関連するすべてのデータが取り込まれます。

ワークベンチには、以下のセクションが含まれます。



- シリアル番号付品目: サービス活動を実行する必要があるシリアル番号付品目をリストします。「計画 A」または「計画 B」の品目は個別またはまとめてリストされます。
- グラフ: 資源能力 (担当区域/優先エンジニア) をグラフィカルに表示します。
- マップ: さまざまなアイコンを使用して、シリアル番号付品目、優先エンジニア、参照ポイントなどを図/地理的に示します。
- 計画 A および計画 B: 計画を表示および比較するために使用します。計画は、担当区域または優先エンジニアに基づいて実行されます。グラフ内の情報は、[基準] フィールドで選択したオプションに基づきます。
- メッセージセクション: エラー/警告/情報メッセージを表示します。

## 第2章

# 担当区域計画ツールバーとマップアイコン

# 2

この章では、さまざまなツールバーオプションおよびワークベンチを簡単に移動できるアイコンについて詳しく説明します。

## ワークベンチのナビゲーション

### ツールバー

次のオプションが使用できます。



- 未割当: このオプションを使用して、選択したシリアル番号付品目からエンジニアの割当を解除します。
- 表示する品目: マップレイヤのリストを表示します。品目を選択/選択解除すると、その品目はマップ上で対応するレイヤを非表示/表示にします。デフォルトでは、すべてのレイヤが選択されます。
- 品目フィルタ: この値は、「割当済」/「未割当」に設定できます。デフォルトでは、「割当済」および「未割当」の両方が選択されます。たとえば、「選択済」品目を非選択にすると、未割当の品目のみが、(マップ上およびグリッド上の) ワークベンチに表示されます。
- 更新: 選択された担当区域計画のデータを更新します。
- 全面に合せてズーム: このオプションを使用すると、マップ上にすべてのシリアル品目を表示できるようにマップサイズを最適なレベルに拡大することができます。
- 拡大、縮小: このオプションを使用して、マップを拡大/縮小します。
- プッシュピンのサイズ: これを使用して、マップ上のプッシュピンのサイズを拡大/縮小します。
- ワークスペースメニュー: これには、ワークベンチのUIレイアウトに関連するさまざまなメニューが含まれます。
- 設定およびヘルプ: 設定メニューには、デフォルト/レイアウトなどのオプションが含まれます。

## 担当区域計画アイコン

以下のアイコンが担当区域計画ワークベンチで使用されます。

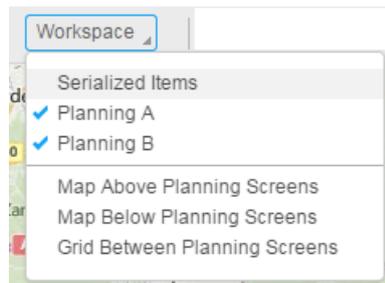
アイコン	説明
	<p>このアイコンは、エンジニアのロケーションを表します (担当区域計画で指定されている場合)。エンジニアに割り当てられているすべてのシリアル番号付品目は同じ色であり、アイコンはエンジニアに割り当てられているシリアル番号付品目と同じ色でなければなりません。注意 このアイコンには、エンジニアの画像も表示されます (使用可能な場合)。ドラッグアンドドロップオプションを使用して画像を追加できます。</p>
	<p>このアイコンは、エンジニアについて指定された参照ポイントを表します。この参照ポイントは、割り当てられたエンジニアの色と同じ色でなければなりません。</p>
	<p>このアイコンは、同じ担当地域に所属する品目の中心を表します。</p>
	<p>このアイコンは、シリアル番号付品目を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ アンバー色の部分は、「計画 A」で指定された担当区域計画に品目がリンクされており、担当区域または優先エンジニアに割り当てられていることを示します。</li> <li>■ 青色は、「計画 B」で指定された担当区域計画に品目がリンクされており、担当区域または優先エンジニアに割り当てられていることを示します。</li> </ul>
	<p>このアイコンは、ワークベンチの「計画 A」で指定されたシリアル番号付品目を表します。シリアル番号付品目は、「計画 B」の優先エンジニアまたは担当区域にリンクされません。</p>
	<p>このアイコンは、「計画 A」または「計画 B」のいずれかで担当区域計画が 1 つだけ選択されたシリアル番号付品目を表します。</p>

## 注意

画像のガイドラインは、次のとおりです。

- 更新される従業員画像のディメンションは 500x500
- 解像度は 300 dpi 以上。Dpi が低いと画像が錯乱する
- 画像の拡張子は、.jpg、.gif、または .png

## ワークスペースメニュー



「シリアル番号付品目」、「計画 A」、および「計画 B」は、ワークベンチのさまざまなセクションです。トグルメニューとドッキングコントロールを使用して、これらのセクションを最小化/最大化できます。

他のオプションは、ワークベンチのデフォルトレイアウトです。たとえば、[マップ (計画画面より上)] オプションを選択すると、マップは計画 A と B のセクションの上に配置され、シリアル番号付品目グリッドはマップの右側に配置されます。ドッキングコントロールのドラッグアンドドロップオプションを使用してセクションを整列することにより、このビューをさらにカスタマイズできます。[設定] メニューの [設定の保存] オプションを使用して、新しい設定を保存できます。ワークベンチにアクセスするたびに同じビューを使用できます。

## 複数画面シナリオおよびデフォルトビュー

[ワークスペース] には、3つのデフォルトビューがあります。これらのビューを使用して、自分の設定を構築できます。たとえば、複数画面の環境でマップをある画面に配置し、残りの計画画面を 2 番目のモニタに配置する場合、以下の作業が必要になります。

- デフォルトビューを選択します。
- 要件に合わせてビューをカスタマイズします。
- [設定の保存] オプションを使用して、ビューを保存します。
- 次にワークベンチを開くと、最後に保存されたビューを使用できます。
- ブラウザのサイズを変更して、ある部分がモニタ 1 に表示され、次の部分がモニタ 2 に表示されるように引き伸ばします。



この章では、ユーザが利用可能なさまざまな設定について簡単に説明します。

### ユーザ設定

- デフォルトの取得: このオプションを使用して、デフォルト設定を表示します。
- デフォルトの保存: セッションで利用可能なセクションをクリックして独自のビューを作成します。このオプションを使用して、デフォルト設定を保存します。ワークベンチにアクセスするたびに同じビューを使用できます。
- デフォルトの消去: このオプションを使用して、デフォルト設定を消去します。設定を消去した後でワークベンチにアクセスすると、デフォルトのビューが表示されます。



この章では、このワークベントを使用して分析できる資源利用率について説明します。

## 資源の割当/未割当および影響分析

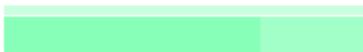
### 資源の割当

資源は、単一の品目またはシリアル番号付品目のグループに割り当てることができます。エンジニアに割り当てるシリアル番号は、マップまたはグリッドから選択し、以下を使用してシリアル番号を割り当てます。

- 割当ボタン - 資源チャートの各資源に提供されている [割当] オプションをクリックできます。

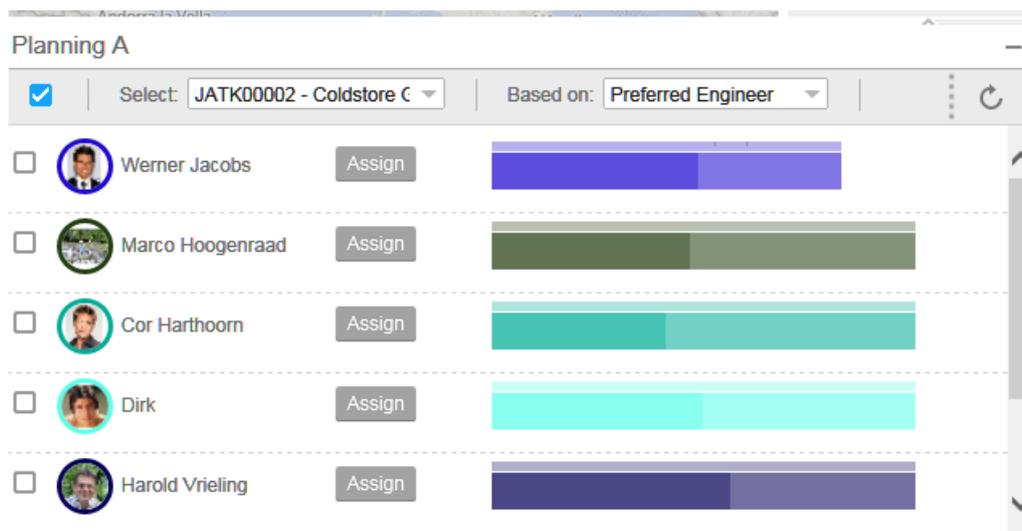


#### Planning A

<input checked="" type="checkbox"/>	Select: <b>MH000008 - Tiefkuhl C</b>	Based on: <b>Preferred Engineer</b>
<input type="checkbox"/>	 Harold Vrieling	<b>Assign</b> 
<input type="checkbox"/>	 Guido Herres	<b>Assign</b> 

- ドラッグアンドドロップ - 資源チャートからマップ上に従業員をドラッグアンドドロップできます。





- 有効: このチェックボックスは、計画が有効であることを示します。どの時点においても、有効にできる計画は 1 つのみです。計画が有効な場合:
  - この計画のエンジニア、中心基準、参照ポイント、および凸包、エンジニアがマップ上に表示される
  - [割当] ボタンが、有効な計画で使用可能な資源について有効になる
  - ドラッグアンドドロップが有効な計画で使用可能な資源について有効になる
- 選択: このフィールドには、すべての担当区域計画のリストが表示されます。一度に選択できる計画は 1 つのみです。
- 基準: このフィールドを「優先エンジニア」または「担当区域」に設定できます。選択した値に基づき、ワークベンチは対応するデータを表示します。この値は有効な計画にのみ修正できますが、同じ値を比較モードで無効な計画に適用できます。
- 更新: [更新] ボタンは、影響分析で利用できます。詳細については、影響分析を参照してください。
- 選択: このチェックボックスがオンの場合、この資源のすべての割当済品目がマップまたはグリッド上で選択されます。複数の資源を選択できます。
- グラフ: グラフには、(同じ色の濃淡で表示される) さまざまなセクションにエンジニアの能力が表示されます。ツールチップには、能力タイプが表示されます。

## 影響分析

割当シナリオの影響分析を実行して、計画内のさまざまなエンジニアの能力への影響を判断できます。このアクションをするには、次の操作を行う必要があります。

- 割り当てるシナリオ番号をマップまたはグリッドから選択する
- [計画] セクションのツールバーにある [更新] ボタンをクリックする

影響を受ける能力が計算され、選択済能力として表示されます。選択を修正すると、チャートは元の能力にリセットされます。



# 第5章 計画の概念

# 5

この章では、ユーザが利用可能なさまざまな計画の概念について簡単に説明します。

## 計画での作業

計画 A または計画 B の [選択] フィールドから担当区域計画を選択できます。また、[基準] フィールドに値を設定することによって優先エンジニアまたは担当区域に基づいて担当区域計画を表示することもできます。

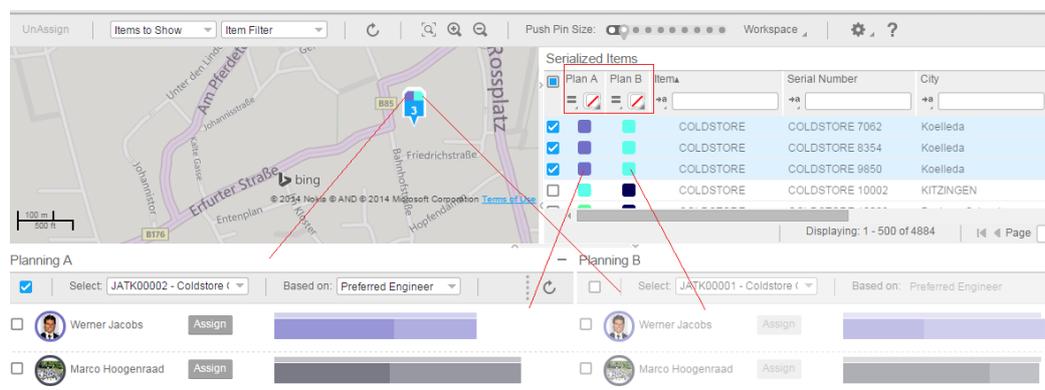
### 単一計画

単一計画を選択すると、その計画に関連する参照ポイント、シリアル番号付品目、優先エンジニア、エンジニアの場所をマップに表示できます。

### 計画の比較

計画 A と B がユーザによって選択されている比較シナリオでは、左側のデータは計画 A を表示し、右側は計画 B を表示します。通常、次のような代表的品目があります。

- マップ上のシリアル番号付品目
- グリッド上のシリアル番号付品目



- 2つの計画の比較における色の役割  
色は、おもにエンジニアや担当区域が割り当てられているシリアル番号付品目を識別するために使用されます。割り済のシリアル番号付品目はすべて、品目が割り当てられたエンジニア/担当区域と同じ色になります。

2つの計画を比較するには:

- 計画 A から担当区域計画を選択する
- 計画 B から担当区域計画を選択する
- 計画を有効に設定する
- 必要に応じて「基準」の値を変更する。これにより、他の計画の「基準」の値が変更される
- 選択した計画に基づき、割り当てられたエンジニア/担当区域の色コードを示す計画 A および B の色カラムが表示される。カラムが「適用なし」の場合、色カラムの値は「色なし」になる

## 凸包

凸包は、地理的に結合され色付けされたエリアで、「従業員」および「担当区域」にシリアル番号が割り当てられている地域を示します。これによって、そのエリア内のシリアル番号を効果的に計画および割り当/未割り当にすることができます。

The screenshot displays a map of Central Europe with various regions highlighted in different colors (green, blue, yellow, orange). To the right of the map is a 'Serialized Item' list with checkboxes and color-coded squares. Below the map, there is a control bar with a dropdown menu set to 'Preferred Engineer'. Underneath, there are three rows representing different simulation areas: 'Simulation South' (yellow bar), 'Shaku's Engineer1' (blue bar), and 'Simulation East' (light blue bar). Each row has an 'Assign' button. Red lines connect the 'Simulation South' and 'Shaku's Engineer1' rows to the corresponding colored regions on the map.

**注意**

マップ上でマークされた凸包、エンジニア、参照ポイント、および中心基準は「有効」な計画に関連しています。たとえば、計画 B が有効な場合、計画 B 内のエンジニアに関する品目が表示されます。計画 A が有効な場合、計画 A のデータが表示されます。

